

1997

9

月号

SEPTEMBER

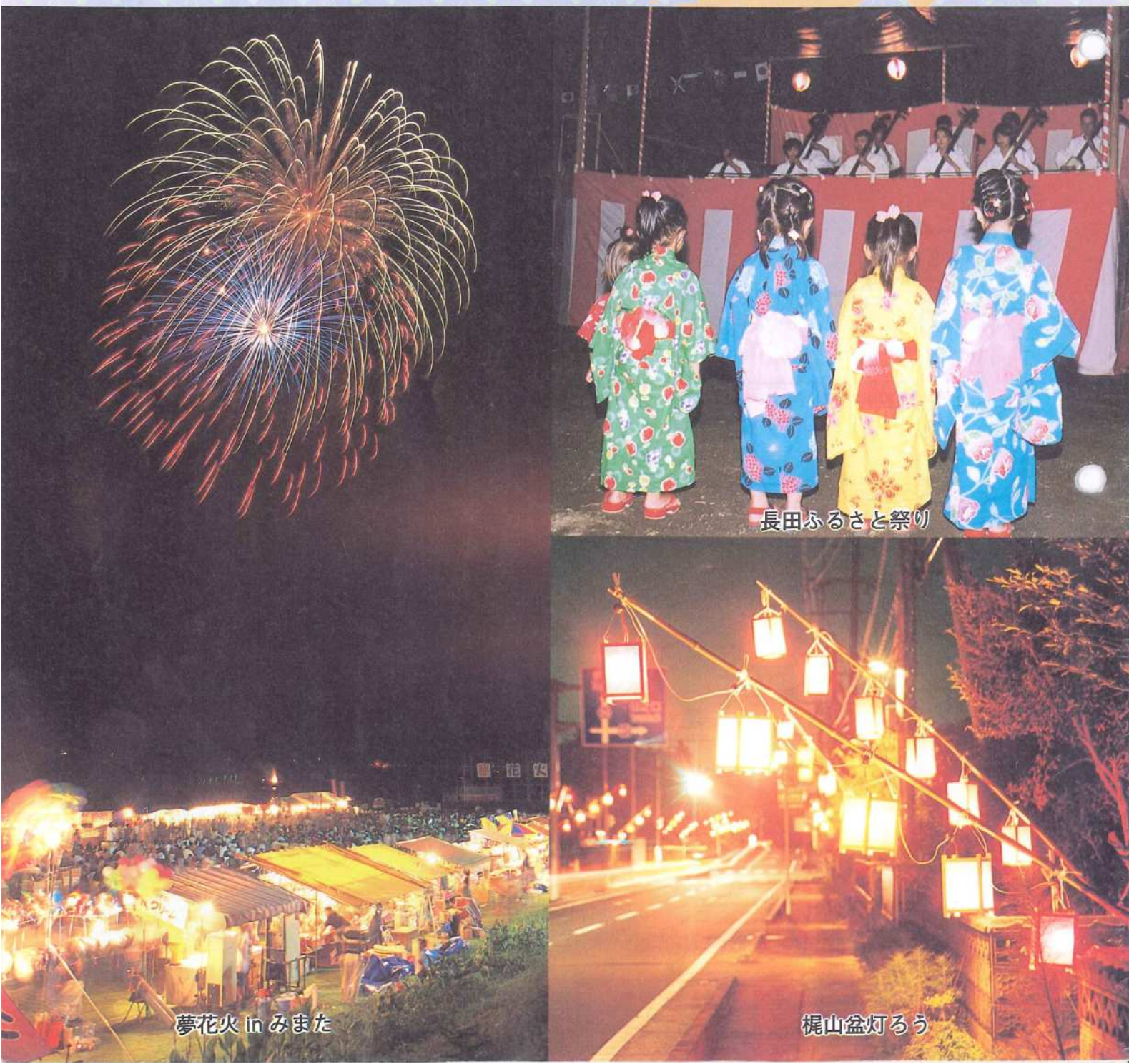
No. 326

花と緑と水のまち



広報

みまた



長田ふるさと祭り

梶山盆灯ろう

夢花火 in みまた



いきいきさん (15)

とう 籐工芸が

私の生き方を変えた

下石次男さん

買い物かごで代表される籐製品。いま、その籐工芸に励んでいる一人の男性がいます。

名前は、下石次男さん、68歳。榊山の谷地区に、奥さんと2人で暮らしています。

下石さんは、昭和32年、28歳のころ、山林で伐採の作業中、切り出された大木の下敷きになり脊髄を負傷しました。「あのときのことは、今でも忘れられません。これで私の人生は終りだと思いました」。以来、手足の機能を失い、25年以上も寝たきりの生活が続きました。

そして、昭和58年の春、人生に大きな転機が訪れました。それは、これまでの病床生活からの脱出でした。病院の先生の勧めで、宮崎県身体障害者総合福祉センターに入所、3年にわたる本格的な手足の機能回復訓練が始まったのです。センターの生徒は50名、それぞれ身体にハンディを負った人ばかり。ここでの生活が、下石さんに大きな勇気を与えました。「寝食を共にしてお互いが助け合いながら、障害の克服に努めました。その中で、自分の特性をいかして、自立への道を探っていきました」。下石さんは、幼いころか

ら手先を扱うことが好きだったので、いくつもの教習コースの中から「籐工芸」を選びました。そして週6時間の講習を受講することに。

それから3年が経ち、センターを卒業。そのころには、手足の機能も見違えるように回復し、立つて歩けるようになったといいます。「普通の生活を夢見て、リハビリに励んだ結果です。籐工芸は、卒業してからも休むことなく勉強しました。それはリハビリの一環であり、私の仕事です。このことが実を結び、今では、製作できる作品の種類は、花瓶や果物かご、丸皿など8種類にも及びます。昭和63年からは毎年、町の文化祭に作品を展示されています。

「私は、個人の注文を受けて作品を製作しています。籐が乾燥しないよう水に浸して、心を込めて一つ一つ編んでいくので、完成するまでには時間がかかります」。下石さんは、毎朝、リハビリのために病院に通っています。そして、午後からは自宅の一室で籐を編み込んでいます。作品を喜んでくださる人の顔を思い浮かべながら。

編集後記

●長田、梶山、田上の過疎は、確かに深刻です。

しかし、これからの見通しは明るく、解決に向けて取り組んでいる方々がいるからです。その人の目は、皆いきいきと輝いていました。今回の取材を通して、近い将来、きっとすばらしい地域になるに違いないと感じさせられました。

●スポンのベルトの穴。それは、肥満を示すパロメーター。私のベルトの穴は残すところ後ひとつ。深刻な問題です。

いよいよ秋本番。この穴は、冬になるころどうなっているのか心配です。

M・Y

情報募集中

身近な話題や広報紙に関するご意見・感想などありましたらお知らせください。

役場総務課秘書広報係
☎52111111 内線222

三股町の人口

平成9年9月1日現在

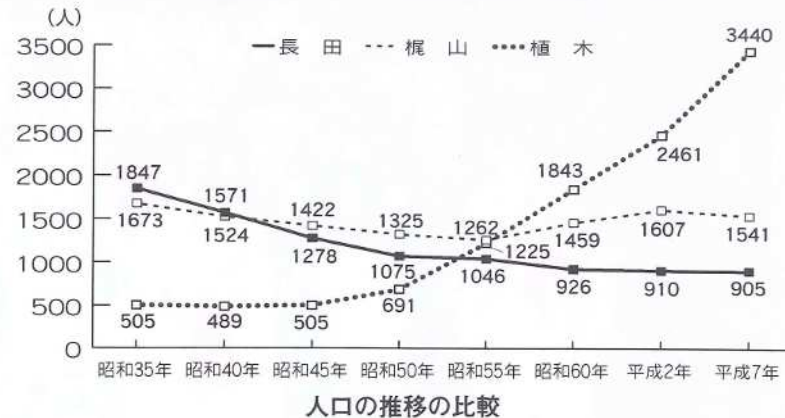
男	11,267人	出生	19人
女	12,512人	死亡	6人
計	23,779人	転入	63人
前月比	+12人	転出	64人
世帯数	8,436戸(+10戸)		

魅力ある地域をめざして

長田・梶山の取り組みを見る



長田小学校の1年生児童8名は元気いっぱい！



三股町の人口増加率は、県内で清武町に次いで第二位。今や二万四千人に迫ろうとしています。しかし、人口の流入は町の西部地域に集中し、梶山地区や長田地区などの東部地域は減少する「西高東低」の現象が続いています。とりわけ山間部の長田地区の減少は深刻で、昭和三十五年に千八百四十七人であった人口は、平成七年には半数以下の九百五人と大きく落ち込んでいます。その原因を考えてみると、農林業の低迷に伴って会社勤めをする人が増え、通勤や通学に便利な中央部へ流出したことや、若者が結婚して団地などに入居して、なかなか地元に戻りたがらないことがあげられます。そのことは、高齢化の進行や小学校の複式学級など様々な問題を生み出しました。そして今、長田・梶山の二つの地域は動きはじめました。過疎化の解消と地域の活性化に向けて。



各地に点在する廃屋は過疎の現状を物語る



息のあった三味線演奏

ヴィーナス縄文の太鼓演奏

祭り長田

リズムカルな太鼓演奏

親子連れでにぎわった出店

200人が輪になった盆踊り

長田ふるさと祭り

この日、人口は普段の二倍に

「ふるさと」の自然、ふるさとの良さを多くの方々に知っていただきたい。その願いを込めて、十四年前からお盆の時期に「長田ふるさと祭り」が開かれています。今年も、八月十四日の夕方から夜にかけて、長田小学校のグラウンドで盛大に開催されました。主催するのは、長田壮年部の十六名の皆さん。グラウンドには、金魚すくいや焼きイカ、かき氷などの出店が軒を連ねていました。これらは、すべて壮年部が趣向を凝らしたもので、たくさんのお子連れでにぎわっていました。また、会場には、やぐらが生まれ、地元の主婦ら六名で構成する「ヴィーナス縄文」による津軽三味線の演奏、五つの大小の太鼓をリズムカルにたたく錦華流の太鼓の演奏が繰り広げられたほか、お年寄りから子供まで約二百名がひとつの大きな輪になって盆踊りを楽しんでいました。

祭りのフィナーレは、約四百発の打ち上げ花火で、宝石をちりばめたように光輝く星空に鮮やかな大輪の花が映し出され、小学校を取り囲む山々には、大きな音が鳴り響いていました。いつもは静かな長田ですが、この日だけは、普段の人口の二倍以上の約二千五百人であふれ、楽しい夏の一夜は過ぎていきま

祭りを地域の活性化につなげたい

長田壮年部 部長 戸郷福實さん(55)



お盆に帰省した方や町内の多くの方々が、長田の祭りを楽しみにされていると伺っています。今、長田地区は、過疎化が進んでいますが、この祭りを切っ掛けにして、地域の活性化が図られ、過疎化に歯止めがかかればと思います。そして、「美しい山々やきれいな川の流れる自然豊かな長田で、人々がいきいきと暮らす」そんな地域になればと願っています。

活性化をめざし二百五十個制作

今年のお盆、梶山地区を東西に走る県道沿いは、色鮮やかな盆灯ろうの光のアーチで彩られました。

それは、梶山小学校の児童の父母らで構成する梶山小学校活性化委員会（園田洋一委員長、四十八名）の取り組みがもたらしたものといます。盆灯ろうは、大正時代末ごろからお盆の迎え火、送り火



灯ろうを取り付ける様子

の代わりに青竹に五個の灯ろうを下げて軒先に飾っているもので梶山地区に伝わる伝統行事のひとつ。

しかし、最近では飾る家が少なくなっていることから、その状況を重くみた同会が、「地域のイメージアップと活性化につなげよう」と今年の春、盆灯ろう作りを計画したといっています。

その作業は、七月から始められ、仕事や家事の合間をみて一ヵ月かけて完成させました。長さ六メートルの青竹（五十本）に、赤、青、白、黄色の四色の灯ろうが五個取り付けられて、手作りのぬくもりが伝わってきました。



梶山小学校活性化委員会
委員長 園田洋一さん(39)

児童減少の防止につなげたい

小学校の児童数の減少を深刻に受けとめて、昨年十月、委員会を結成しました。今年度は、様々な事業を計画しています。梶山盆灯ろう作りもそのひとつです。この活動が、地域の活性化につながり、児童数の減少防止になるよう願っています。

過疎解消は、

地域住民の協力が大事

過疎化の解消のためには、何が大事なのでしょう。

梶山小学校活性化委員会の役員七名と長田小学校過疎対策部の六名は、七月二十日の夜、町PTA連絡協議会（会長 月野健一郎）の呼び掛けにより中央公民館の研修室で梶山・長田小活性化委員会を開きました。

これは、過疎や児童数の減少など同じ問題を抱える両校の父母らが、今後、協力しながら問題解決に当たろうと初めて開催したものです。

会議では、それぞれの代表者が児童数の現状や今後の推



会議の様子



熱心な協議は遅くまで続いた

移、居住希望者の実態などを説明した後、これからの対応策について熱心な協議を行いました。出席した方々は、その問題がいかに深刻であるかを改めて感じていたようです。意見の中には、宅地の問題や公営住宅の建設など行政への対応もありました。しかし、忘れてならないのは、地域住民の活性化に向けた取り組みです。これから、「いつまでも住んでいたい、一度は住みたい地域づくり」のために地域住民が協力していくこと、それが過疎対策につながっていくのではないのでしょうか。

人口の減少に歯止めを!!

住宅新築、転入者へ奨励金

町は、梶山、長田小学校区に住宅を新築した人などに奨励金を出す「過疎地域定住促進奨励事業」を今年度から実施しました。

これは、町東部の梶山、田上、長田地区の過疎化が進み、それぞれの小学校で複式学級が増えていく状況などを踏まえ、複式学級の解消と定住化を促進することを目的にしているものです。

(1)住宅新築・購入奨励金

- ・夫婦の年齢合計が満100歳まで（母子世帯等については世帯主の年齢が満50歳までの方）
 - ・梶山小学校区及び長田小学校区以外の区域（町外を含む）から梶山小学校区及び長田小学校区に引っ越しされた方
 - ・引っ越しされてから1年以内に70㎡以上の住宅を建築、購入された方
- 以上3条件のいずれにも該当する方に次のとおり交付します。

条件	総額	1年目	2年目	3年目	交付時期
小学生以下の子供を扶養している場合	100万円	50万円	30万円	20万円	初年度は交付決定日の半年後 2・3年目は初年度の交付日の 1年後、2年後
中学生以上の子供を扶養している場合	50万円	30万円	10万円	10万円	
扶養している子供等がない場合					

(2)転入・転居奨励金

- ・梶山小学校区及び長田小学校区以外の区域（町外を含む）から梶山小学校区及び長田小学校区の公営住宅及び民間の借家に引っ越しされ、小学生を扶養されている方

条件	総額	1年目	2年目	3年目	交付時期
子供が1人の場合	10万円	3万円	3万円	4万円	初年度は交付決定日の半年後 2・3年目は初年度の交付日の 1年後、2年後
〃 2人の場合	15万円	5万円	5万円	5万円	
〃 3人以上の場合	20万円	6万円	6万円	8万円	

(3)入学祝金

- ・梶山小学校区及び長田小学校区の区域に住んでいる方
 - ・梶山小学校区及び長田小学校区の区域に引っ越しされた方
- 以上のいずれかの条件に該当される方の未就学児童が小学校に入学される時に1万円を交付します。

◎ご注意

- 適用は平成9年4月1日以降といたします。
- 申請方式で交付しますので、申請された方のみ対象となります。（申請は企画調整課まで）
- (1)と(2)は重複交付はいたしません。(3)は(1)もしくは(2)と重複交付をいたしません

◎問い合わせ先 役場企画調整課 ☎52-1111 内線 243

シリーズ 町の歴史

三股の50年を探る

(その6)

本町の消防団は、大正初期、「消防組織規則」に基づいて「三股村消防組」を創設したのが始まりとされています。当時は、六部制で構成され、約百五十名の組員が消火活動などに当たっていました。昭和十四年四月、「消防団令」に基づき、名称が「三股村消防団」に改められ、全国的に消防防として警察の指導のもとに活動していました。それから九年が経過した昭和二十三年、「消防団令」によって、現在の「三股町消防団」の名称になり、警察の管理下から分離独立しました。昭和二十五年、消防団は十部制になり、それまで使用していた手押しポンプから手引動力ポンプへと整備が図られました。昭和三十六年、行政区の改編に伴い、七つの地区公民館ごとに各一部を編成。さらに、昭和四十二年には、本部が設置され、定数百五十名の八部体制が確立しました。平成四年、消防団ラッパ隊が発足、定数が百六十名に改正され、現在に至っています。今月号では、消防団長の経験のある仲町にお住まいの清永邦雄さん(88)に消防団の歴史について語っていただきました。



昭和38年9月の消防操法大会の様子

問 清永さんは、昭和十九年に消防団の前身の三股村消防団に入団されたそうですが、当時の様子について、お話しただけなんでしょうか？

清永 当時、私は、十五歳でした。戦争の真っ只中で、成人男性は、戦地に駆り出され、人手不足だったので、私たち少年は、地域の消防に協力するよう迫られました。

問 そのころの消火活動は、どのような方法だったのでしょうか？

清永 大勢で火災現場まで、車輪付きの手押しポンプを引



昭和30年代後半の出初式の模様

問 手引動力ポンプが昭和二十五年以降に整備されたと同っていますが、当時の思い出話などございますでしょうか？

清永 町の郊外で火災が発生した時、運搬用のトラックにポンプを積んで現場に向かっていた。荷台には、団員

か？

清永 火災が発生した時、火災を知らせるサイレンは聞こえても、その場所がどこなのか分からなかったことですね。今では、防災無線によって場所を知ることができますが、昔は、役場に行かないと分かりませんでした。

問 三十年以上にわたって消防団に所属されていたわけですが、現在の消防団についてどのようなお考えをお持ちでしょうか？

清永 私が所属していた時よりも消防用の機材は整っており、万一の際は、無線などを通じて瞬時に団員を統制できます。最近の火災を見ても延



昭和40年県消防操法大会優勝記念

問 現場まで向かう時が危険だったとは驚きですね。ところで、印象に残っている火災はございますでしょうか？

清永 昭和二十一年一月十四日に、仲町であった精米所と二件の住宅を含む火災が印象に残っています。その日は、出初式が行われ、夕方は反省会で、みんな酒を酌み交わしていました。すると役場の火災を知らせるサイレンの音が聞こえたので、宴会場から外に飛び出すと、赤々と立ち上る炎が見えました。すぐに消防倉庫に行つて、ポンプを引っ張り出して、息絶え絶えの状態で見つかりました。

問 最後に、これからの三股町に対する期待やご意見を聞かせてください。

清永 今、国内は、高齢化社会が大きな問題になってきています。三股町も同様で、将来、高齢化社会に対応する体制づくりが重要でありましょう。そのほか、様々な問題がありますが、これからの町の将来を考えていくと、今まで以上に女性と青年の活躍が重要になってくると思います。



清永 邦雄 さん
昭和3年12月15日生まれ
昭和19年1月、三股村警防団に入団。昭和40年1月、三股町消防団副団長に就任。昭和46年12月、団長に就任され、昭和50年12月に退団。
昭和50年4月から交通安全協会三股支部役員、平成4年4月から平成7年3月まで副支部長。
平成9年7月から三股駅前商店会会長、現在に至る。

問 出初式は、昔から一月十四日に行われていたのですか？

清永 はいそうです。私が所属しているところからです。ですから、五十年以上も前から続いていることになりましたね。

問 昭和二十年代の出初式は、どのようなものだったのでしょうか？

清永 当時は、車輪付きの手押しポンプを約八百メートル引っぱって放水するという競争を行っていました。現在の武道体育館前を各部の手押しポンプが一斉にスタートし

て、上村商店前を左折、小学校前の五差路を左折して、武道体育館前にゴール。到着後、用水路の水を汲んで放水するという競争でした。街頭には、地域の後援会や婦人会の方々が応援にかけつけ、とてもにぎやかでした。競争の後、三股小学校に場所を移して、団員の規律訓練や分列行進が行われました。

問 出初式でもいろいろ出来事などございますでしょうか？

清永 昭和三十年代半ばに婦人消防隊がありました。出初式では、バケツリレーなどを

問 消防活動の中で最も苦労したのは何だったのでしょうか？

清永 現在の消防の技術や団員の規律の審査に加え、筆記試験が行われていました。消防の基礎知識の問題が書かれたプリントが選手全員に手渡され、決められた時間内で回答するというものでした。ですから、夕方はポンプを使った技術訓練を行い、夜間は、小学校の一室を借りて、勉強させられました。なかなか覚えられずに苦労しました。

町制50周年を記念して 来春、式典を開催

昭和23年5月3日、「三股村」は、「三股町」に衣替えしました。そして、来年の5月で町制施行50周年を迎えます。町では、これを記念して盛大に式典を開催いたします。

先人のためみない努力に感謝するとともに、町民の皆様のご支援、ご協力に支えられ、堅実な歩みを続けている三股町を祝う式典にしたいと計画しています。どうぞご期待ください。

■期日 平成10年5月10日(日)
※会場並びに内容については、検討中です。決まりしだい、広報紙でお知らせします。

夏の夜空に大輪の花

「夢花火inみまた」開催



真夏の夜のイベント「夢花火inみまた」は、台風13号の影響を受け5日順延の8月21日、三股橋上流河川敷で開かれました。

この催しは、郷土愛が高まり、町に活力が生まれ、豊かな自然環境を守り育てようと町商工会の青年部、婦人部を中心とする花火大会実行委員会が主催して、昨年から開いているものです。

オープニングでは、長田の主婦ら6名で構成する「ヴィーナス縄文」が登場し、華麗なパチさばきによる太鼓演奏で祭りの気分は盛り上がりました。

中でも、祭りのメインプログラム「花火大会」は、周囲の山々に大音響をとどろかせ、大小4千発の花火は夏の夜空を彩り、川面に美しく写し出されました。その情景を見ようと会場やその周辺を約1万人の観衆が取り囲み、多くの方々の心の中に郷愁とロマンを与えました。



中学生のグループによる太鼓演奏



息のあった津軽三味線の演奏



ヴィーナス縄文太鼓演奏



迫力ある太鼓の演奏



町文化協会による町民総踊り



研修に参加した団員のメンバー



和泊町の子供との交流会では
やっこ踊りを披露



美しい海では大はしゃぎ



切り絵に初挑戦



花き流通センターの見学



別れを惜しみ泣き出す場面も



鍾乳洞でハイ、パチリ

夏休みの貴重な体験

―三十名の児童の記録―

町と教育委員会は、七月二十九日、町内の小中学生三十名を鹿児島県沖永良部島に派遣しました。

これは、次世代を担う青少年の人材を育成しようと平成三年から毎年夏休みを利用して実施しているものです。派遣団員は、作文をもとに、三股中から六名、町内の六つの小学校から合わせて二十四名が選ばれ、これに団長として勝岡小の山田教頭、指導員として野島教諭（三股中）と長田教諭（宮村小）が随行。七月二十九日から八月三日までの五泊六日の日程で、沖永良部島で地元の子供たちと交流を深めながら、物流センターや史跡の見学をしたり、切り絵作りなどを体験しました。うち、二泊三日は、和泊町の十一の世帯にホームステイして、家庭の楽しい雰囲気味わいました。なお、今回の研修には、山元町長も二日間同行し、研修先の和泊町役場を訪ね、泉町長・竿田教育長や関係者に対してお礼を述べました。この夏、三十名の児童にとって沖永良部島の研修は、大きな思い出として心の中に刻まれたことでしょう。



■ 紙面国際交流コーナー ■

英国の王室と報道機関

ジェーソン・ウィリアムス

網かけの部分が英文にしております。
中学生、高校生の皆さん英文を訳してみましょう！

8月は夏と言っても、梅雨が長続きしたり、台風も多かったり、例年より涼しい感じがしました。9月に入り、やっとこの地域の夏らしい暑さが見舞ってきました。イギリスの方はまだ夏ですが、夜は涼しくて、ここの10月下旬の温度ぐらいに当たると思います。暑い間は川や海にたっぷり泳ぎに行こうと思います。

皆さんは英国のダイアナ元皇太子妃が8月31日に交通事故で亡くなったことは熟知していると思います。私はあまりテレビを見ないものですから、母がイギリスから電話をかけてくれて、初めてその事件を聞きました。(普通におしゃべりしている途中でダイアナの話題が出てきただけのことでした)。その翌日、仕事に出て、いろんな人が『大変ですね、ダイアナさんのこと』と言いました。もっと話を聞くと、バッキンガム宮殿の前に集まった人たちが泣いていた様子がテレビに映っていたそうです。日本人の話を聞くと、英国人はみんな衝撃を受けたように思われがちですがそうでもありません。

英国には日本のように王室を積極的に賛成する愛国者もいますし、王室はどうでもいいと思う人と組織を完全に除去し、王国を共和国に入れ替えようと思う人もいます。特に先の十年ぐらいは英国国民は税

金がいっぱいどのように費やされているのか、無駄使いではないのかと王室に対する不満が益々溜まってきました。

NHKのように英国放送協会はその国を代表する責任を担いますので、王室に対して愛国者が気に入るような建前のことしか出さなくて、裏の面を平等に発表すれば、凄く批判を浴びて、それを怖がっています。英国放送協会はチャンネルが二つあり、これ以外はまた二つの民間放送があります。後者の方の話し振りはもっと開放的です。

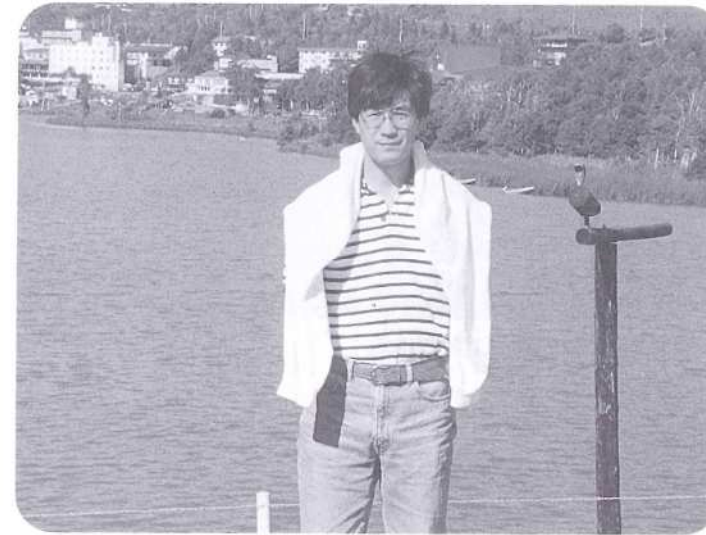
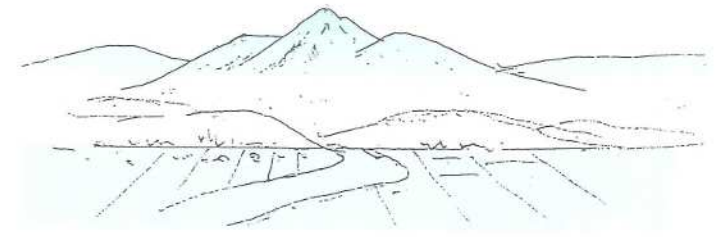
英国の全国の新聞は、日本のと比べて数が多く、記者のやり方も様々です。王室を応援する新聞と完全に批判する新聞、右翼から左翼まで政治の範囲を象徴する新聞があります。同じ事件に対する記事が新聞によって食い違いがあり、全体の情勢が分かるように色々読んで、自分なりに解釈するしかないのです。しかし、日本の場合はどの新聞を読んでも、たいいてい同じ記事が載って、同じ記者が書いているではないかという不満を抱いています。

Let's Have a Go

In England, as in Japan, there are those patriots who positively support the royal family, there are those who do not care about the royal family and there are those who want to change the kingdom into a republic. Over the last ten years or so the english people's dissatisfaction with the royal family has been growing steadily. They wonder how their taxes are being used and if money is being wasted.

Like NHK the British Broadcasting Corporation(BBC) bears the responsibility of representing the country so it only reports the official line with regards to the royal family, to keep the patriots happy. If it reported the other side of the story it would receive a great deal of criticism and it is afraid of this. Apart from the two BBC channels there are two other private channels. These two are more open with what they say.

ふるさとへの便り



児玉 忠 (42)

(勝岡出身)

三股町の皆様お元気でお過ごしですか、私は勝岡出身の児玉忠と申します。
毎月役場より「広報みまた」を送付いただき、ふるさとの便りなど三股町の動きなど楽しく拝見しております。まさか自分がふるさとへの便りの指名を受けるとは思わなかったもので、何を書くか悩みながらの便りになってしまいましたが、お許しください。

都会に憧れ、希望と不安を胸に、故郷三股を離れ名古屋に来てもう二十五年になろうとしております。宮崎空港の送迎デッキで手を振る両親の姿は今でも忘れ去ることのない思い出でもありません。沖水川での水遊び、学校の運動場での野球、サッカーと、自然の中で育ち、自然を相手に遊んだ子供のころの思い出が、なぜか昔話のようになりつつある、今日このころですが、帰省した時は必ず、町内を息子(五才)と二人で、ドライブしながら、年々変貌していく故郷の姿に一抹の寂しさを感ずるときもあります。

また、独身の時は、田舎にもなかなか帰省しなかつたのですが、最近最低限の親孝行のため、孫の顔見せに益・正月の年二回は必ず帰省するようにになりました。
私は現在、名古屋市の東部に位置する名東区に、家族三人で住んで八年になりますが、東名高速名古屋インターにも近く、車で十分ぐらいの所

(お知らせ)

第14回在京者三股会の開催日決まる!!

三股町出身者及びゆかりのある方の首都圏在住者による「在京者三股会」を左記のとおり開催いたします。

◎日時 10月25日(土) 午後2時～
◎場所 モリス 29
新宿区西新宿2-3-1
☎03-5381-9229

東京近郊にお住まいの方で、三股町出身者及びゆかりのある人はどなたでも参加できます。希望される方は、次のところまでご連絡ください。

◎森 昭博 0484-77-0350
◎石坂 募 0425-43-5421
◎荒武 敬治 043-237-7725
◎児玉 泰男 03-3692-4431
◎日高 悦男 0462-45-3638
◎新森 修 0439-87-8051
◎佐沢 明博 0424-23-6712

には東山動物園もあり、スーパーなどへの買い物にも便利な所です。最近発展した街で県外出身者が多く住む街でもあります。
勤務先は、三股ではあまりなじみがないかも知れませんが、夕食材料宅配業の「ヨシケイ」で有名な(株)シヨクブンという所で働いております。今は自社開発商品の『夢の玉手箱』『オツノ贈り物』という贈答用キットの販売責任者として全国を回る仕事をしております。

り必ず出席していただき嬉しく思っておりますが、会員に三股町出身者が少なく肩身の狭い思いをしております。ぜひ、肉親・親戚・知人等どなたでも結構です連絡先が分かれば教えていただきたいと思っております。
最後に、故郷三股町の益々の発展と、町民の皆様の健康をお祈り申し上げます。



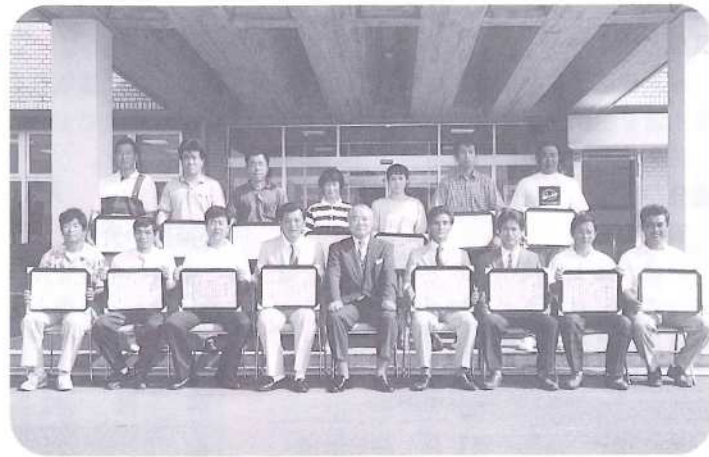
消防団夏期訓練大会

町消防団（団長 中村修一 団員160名）は8月31日、夏期訓練大会を三股橋下流の河川敷で開きました。大会は、火災を想定し、河川から水を吸水して、4台の消防車両を経由して送水する訓練を行いました。訓練は、現場さながらの様相を呈し、団員は真剣そのもの、機敏な動きをみせていました。訓練の後は、場所を河川プール横の河川敷に移してグラウンドゴルフを行い心地よい汗を流しました。夏期訓練大会は、消防の技術の向上と団員の体力づくりを目的に、消防操法大会と1年交代で実施しているものです。

消防団退職者に感謝状

この春、町消防団を退職された15名に町は9月1日感謝状を贈りました。退職者は、消防団に5年以上在職し、町民の生命、財産、身体の保全に昼夜を問わず尽力された方々です。長い間お疲れ様でした。（退職者は次の方々 敬称略）

杉山 英夫	中石 國弘	西村 光弘
山領 三明	出水 和彦	田爪 一幸
米村 利光	米村 伸一	畑中 正次
川越 流水	松崎 清一	黒坂 勉
岩崎 文一	初森 明義	兒玉 春男

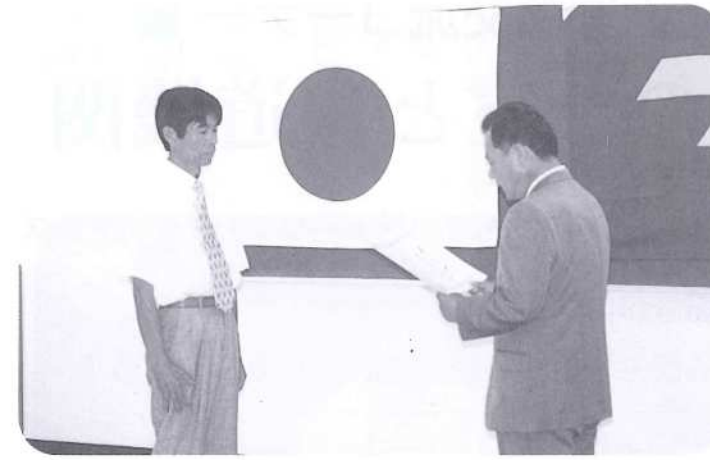


長寿おめでとございます

町は、「敬老の日」を前に9月1日と2日の2日間、99歳の白寿を迎えられた永山シゲさんと瀬尾フミさん、88歳の米寿を迎えられた男性14名と女性27名に敬老祝金と記念写真を贈りました。敬老祝金は、町条例に基づいて毎年送っているもので、白寿者が10万円、米寿者が3万円。高齢化社会の進展を背景に、対象者は年々増え続けています。山元町長は、2日間にわたって1軒1軒の家庭を訪問し、植木のさかもと製茶がプレゼントしたお茶を添えて敬老年金を手渡ししながら「いつまでも元気で長生きしてください」と激励しました。

手作りコンサート開催

宮村小学校の家庭教育学級（立山京子学級長）は、8月24日、同小体育館でサマーコンサートを開きました。この催しは、イベントを通して親子のふれあいを深めようとしたもので、児童たちによるピアノ演奏、父母で編成したアンサンブルの器楽演奏、音楽教室の講師たちによる演奏、アニメ映画をスクリーンに映しながらの演奏と楽しいプログラムが続き、最後は、参加者全員による「アイスクリームの歌」を合唱し、館内いっばいに美しい歌声が響いていました。コンサートを企画した父母のひとり黒木忠仁PTA会長は、「初めての企画としては、大成功です。できたら来年も開きたい」と感想を述べました。



長年の道路美化活動が評価

蓼池青壮年部（部長 堀内義雄 会員50名）は、このほど道路美化愛護団体に選ばれ、都城土木事務所で表彰されました。当青壮年部は、昭和57年4月に発足して以来、道路を定期的に清掃するほか、国道や県道沿いにプランターを設置して、その季節の花を植栽するなど、長年にわたる道路美化活動が評価されたものです。この受賞に堀内さんは、「青壮年部の先輩や地域住民の皆様のおかげです。これからも賞に恥じないよう地域住民と一体となって道路美化に努めていきたい」と述べました。

自然の山々を大切に

みどりの少年団、清掃作業を実施

勝岡小学校の5・6年生で構成する勝岡みどりの少年団（団長 下牧満 団員21名）は、8月20日、わに塚山頂の清掃作業を行いました。この活動は、環境美化の一環として、昭和62年から毎年夏休みを利用して行なっているものです。この日は、団員20名に、小学校教諭、児童の父母、役員関係者なども参加。早朝、2台の車に分乗し、わに塚山頂に到着した後、約1時間にわたり、テレビ塔周辺のごみ拾いや草取りを行いました。時折、雨に見舞われましたが、みんな一生懸命頑張っていました。



町の歴史を学ぶ

町内の小中学校教諭10名で構成する町教育研究所は、地域素材をいかした学習を子供たちに提供しようと、8月22日、町内に点在する神社や史跡など7箇所を巡回して学習する「史跡めぐり」を開催しました。この日、参加したのは、6つの小学校の児童30名と中学校の生徒7名で、いずれも自主参加によるもの。早朝、出発に先立ち、中央公民館で結団式が行われた後、約2時間30分にわたり町の大型バスで巡回しました。参加者のひとり、三股中2年の上西由弘君は「史跡めぐりをしたのは初めてです。とても、勉強になりました」と感想を述べました。

沖水川でカヌー初挑戦

梶山小学校の6年生児童8人とその家族は、8月23日から24日にかけて、梶山大橋上流でカヌー乗りに挑戦しました。この催しは、自然に親しみ、その中から自然を大切に育てようとして、1泊2日のキャンプを兼ねて父母らが中心となって今年初めて開催したもので、国体のカヌー競技に出場経験のある福留さんが指導。子供たちは、2時間あまりでオール漕ぎなど基礎技術をマスターし、2日目にはカヌー4艘にわかれ、対岸まで競争するなど夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



新刊図書の紹介

- 【一般向】**
 バットマン究極の悪 アンドリュー・ヴクス
 マンボウ水族館パート5 北 杜 夫
 銀行屋研次郎事故簿 上・下 山田 智彦
 アレキサンドリア 曾野 綾子
 ほか105冊
- 【小中学生向】**
 モニカさんのハーモニカ いとう ひろし
 ほくは盲導犬のサポーター 赤 座 憲久
 恐怖の13時間 三田村 信幸
 石のねずみストーン・マウス ジェニー・ニモ
 ほか28冊
- 【幼児向】**
 おなべおなべにえたかな こいで やすお
 まほうのえのぐ 林 明子
 子てんぐたろう ぶりや かよこ
 でたーっ メグ・ホソキ
 ほか28冊

お知らせ

○本の無料交換会
 ボランティアグループ「ぶどうの会」では、今年も「ふるさとまつり」の会場で、本の無料交換会を行います。ご家庭でいらなくなった本がありましたらお譲りください。
 (連絡先) 町図書室 ☎52-1111
 ぶどうの会
 (代表 西畑) ☎52-6947

○映写会の開催
 ■日時 10月11日(土) 午後2時～
 ■場所 中央公民館2階
 ■内容 幼児～小学生向けアニメ

10月の休館日(中央公民館図書室)

	日	月	火	水	木	金	土
I				1			
II		6	7			10	
III		13	14				
IV	19		21				
V		27	28				

※数字は休みの日

○リクエストお待ちしております

現在、三股町では総合文化施設の建設準備中です。特に、図書館では今後2年間で3万冊以上の本を購入する計画です。そこで、町民の方々からこういった本を購入してほしいという要望があれば中央公民館図書室までご連絡ください。
 三股町中央公民館図書室 ☎52-1111

Q これまで図書館を利用されたことはありますか
A 何回かありますね。特に子供が小さいころはよく利用していました。本は好きで読んでいます。



黒木 忠仁さん

『私と図書館』 No.6
 今回は宮村にある御年神社の神主・黒木忠仁さん(45)を訪ねました。

Q 新しい図書館ができるにあたってどういったことを望みますか。
A やはり誰でも行きやすい、入りやすい図書館を望みます。

Q どのような本が大好きですか
A 清水一向の本を読みますが、若いころは坂本竜馬や勝海舟に関する本をよく読んでいました。特に、勝海舟の生き方、処世術が好きで座右の著として現在もよく読んでいます。

Q 最近あまり図書館を利用していません。やはりちよっと距離を感じますね。
A ですが、最近あまり図書館を利用していません。やはりちよっと距離を感じますね。

○夏休み大盛況!
 図書室は、夏休みも後半に入っ
 てからは、座るイスもないぐら
 い、毎日たくさん利用者でにぎ
 わいました。



夏休みの図書室の様子

また、趣味の本や専門書もおい
 ほしいですね。それと宮村の子
 もたちは、校区外になるのでな
 かなか利用することができません。
 中央以外の子どもたち、町民の利
 用も考慮してほしいと思います。
 そして、すばらしい図書館がで
 きるよう町民の盛り上がりも作っ
 てほしいです。
 ありがとうございました。

例年は、室内でお菓子を食べた
 り大きな声で騒いだりしてなか
 か言うことをきかなかったのだ
 が、今年はマナーが良かったよう
 です。

期待される温泉掘削

～来春には工事完了～

7月16日から始まった温泉掘削工事は、順調に進められており、現在、約100メートルまで掘り下げられました。

工期は、来年の3月まで、掘削深度は1,700メートルを予定しています。なお、総工費は1億3,500万円です。

町では、工事完了前に、温泉の利用方法を審議する組織「温泉活用委員会」(仮称)を設ける予定です。今後、町民の健康増進、地域の活性化など多目的な活用が期待されます。

温泉とは?

温泉法による温泉は、鉱泉の他、地中より湧水する水蒸気およびその他のガス(炭酸水素を主成分とする天然ガスを除く)を含有する定義です。

鉱泉は、温泉法にあげる表に従い常水と区分されます。

■分類

①温泉の分類

鉱泉が地上に湧出したときの温度、または採取したときの温度を温泉という。鉱泉は温泉により次のとおり分類する。

冷 鉱 泉	25℃未満
低 温 泉	25℃以上34℃未満
温 泉	35℃以上42℃未満
高 温 泉	42℃以上

②液性の分類

鉱泉の液性を湧出時のPH値により、次のとおり分類する。

酸 性	pH3未満
弱 酸 性	pH3以上6未満
中 性	pH6以上7.5未満
弱アルカリ性	pH7.5以上8.5未満
アルカリ性	pH8.5以上



ご存じですか?

訪問入浴サービス事業

町は、高齢化社会の進展にとも
 ない寝たきり患者が増えているこ
 とや福祉サービスを向上しようと
 今年度から、二台の訪問入浴車
 を使って入浴サービス事業を行な
 っています。

現在、その利用者は三十一名。
 原則として、一人当り週一回の
 サービスが受けられるようになって
 います。利用料金は、一回あた
 り三百円です。

サービスに当たるのは、
 看護婦一名にヘルパー二名
 の三人体制で、三班のロー
 テーションによるもの。一
 日、一班で三件を訪問して
 います。

訪問先では、まず看護婦
 が患者の血圧、脈、熱など
 検診をして入浴が可能なの
 かを判断。三十分ほど全身
 入浴をさせてから床に就か
 せ、再度検診を実施。約一
 時間半にわたるサービスで
 す。



訪問入浴サービスにあたる看護婦・ヘルパーの皆さん

の真鍋さんは「まだまだ町内には
 寝たきりでお困りの方がいるはず
 です。ぜひ、サービスを利用して
 いただきたい」と話されます。
 サービスの利用をお考えの方
 は、遠慮なく左記のところにお問
 い合わせください。

■問い合わせ
 役場福祉保健課
 ☎52-1111 内線134

おしらせ



相談

秋の「行政相談週間」及び「行政相談所開設」について

行政相談週間

10月12日(日)～18日(土)

行政相談委員は、国・県・市町村の役所の仕事やJ.R・N.T.T・公庫・公団などの特殊法人の仕事について、「処理に納得できない」「不親切な扱いを受けた」「このようにしてほしい」「どこへ相談したらよいかわからない」などの苦情や意見・要望を住民からお聞きし、住民と役所の間に立って、公平・中立な立場から、その解決を促進するお手伝いをしています。

三股町では、次のとおり行政相談を開設し、行政についての相談を受け付けますので、お気軽にお越しください。相談は無料で、秘密は守られます。

○日時 10月14日(火)
午前10時～午後3時

○場所 町老人福祉センター
相談委員細山田ヒサ子さん

十月一日から七日までは「法の日」週間です

宮崎県弁護士会、法務局及び裁判所では「法の日」週間の行事として、左記のとおり無料相談を行いますのでご利用ください。

○日時 10月3日(金)
午前10時～午後3時

○場所 都城市総合社会福祉センター

■相談内容
金銭貸借、土地、建物、相続、扶養、登記、その他の民事、家庭の問題等

10月は「行政書士制度強調月間」です

宮崎県行政書士会では、期

間中無料相談を実施します。官公庁に提出する書類作成や権利義務、事実証明に関する書類作成についてお困りの方、またはご相談されたい方は、最寄りの行政書士事務所または行政書士会にご連絡ください。

○問い合わせ先

宮崎県行政書士会
☎0985-124-4356
FAX 0985-129-4195

10月1日から7日は「公正証書」

「公正証書」は、不動産売買などの契約書や遺言書の証拠力が高め、後々のトラブルを防ぐために設けられています。

法律のプロである公証人が法的に特別の証拠力が認められている文書「公正証書」を作成することにより、皆さん

9月の納税 固定資産税 (2期)

詳しくは 役場税務課へ 52-1111

催し

第2回

「童謡まつりinみまた」

昨年、好評を博した童謡まつりが開催されます。

幼いころ口ずさんだ童謡やわらべ歌をお楽しみください。

○日時 10月26日(日)
午後1時～

○会場 三股西小学校体育館

町教育委員会生涯学習課
☎52-1111内線353

きりしまんぢだ

(1市6町の行事紹介)

○関之尾緑の村観光農園

キウイフルーツ狩り

その他

10月は労働保険 適用促進月間です

労働省では、「働くあなたと家族を守る 労働保険」を標語に十月を「労働保険適用

の大切な取引や財産の安全の確保を図っています。重要な取引に関する契約書や遺言書でお悩みの方は、最寄りの公正証書場にご相談ください。

○問い合わせ先

都城公証役場
☎22-11804

加入手続きは、最寄りのハローワーク(公共職業安定所)及び労働基準監督署で行ないます。

○問い合わせ先

都城公共職業安定所
☎22-11745
都城労働基準監督署
☎23-01192

「Sマーク」登録店なら安心です!!



厚生大臣認可

Safety (安全) まかせて安心。
Sanitation (衛生) 美しく清潔に。
Standard (標準) 確かな技術。
理容・美容・クリーニング店のSマークは、安全と衛生、確かな技術をお約束する信頼のマークです。
万一の場合にも賠償基準に基づいた保証が受けられますから、いつも安心してご利用いただけます。
お店選びはSマークの表示のあるところ!

愛の献血

8月の献血協力(成分献血のみ) 三股町役場24名(来庁者含む) 献血の推進は、皆様の深い理解と協力がないと実施できません。
ご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

末吉町総合センター
☎76-7100

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明けを次のとおりいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

平成9年8月1日から
平成9年8月31日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
今村 國博	(妻)	松代	54	西福木 5万円
大坪 セツ子	(夫)	義成	68	夢池 10万円
黒山 芳友	(父)	教雄	90	森木 3万円
二平 権三	(夫)	富蔵	67	山原 3万円
谷口 久徳	(妻)	百合子	66	下新 5万円
別府 裕九雄	(父)	辰夫	70	餅原 3万円
内村 良秋	(次男)		24	寺柱 3万円

記念事業内容決まる

三股中学校創立50周年記念情報

式典は12月6日土曜日

創立50周年の記念式典等を計画しております今年度も、はや二学期を迎え本番の記念式典まで三か月を切りました。特に一学期は、協賛金等で町内の皆様方には大変お世話になりましたお陰様で目標額に近い金額をご協力いただき、記念事業等当初の計画通り実施の運びとなりました。厚くお礼申し上げます。

最終的に決まりました記念事業は、

1 校旗の新調

これは体育大会でご披露できるかと思えます。

2 正門の修復

正門は町当局のお陰様で立派に修復され、朝日に輝く「白亜の門」としてよみがえりました。

3 玄関前ロータリー等

玄関前を広々とし、池を撤去、庭園をまとめ、駐車

4 記念誌の発行

現在原稿依頼の段階。中学校の歴史を主体とした部分と過去を語る部を中心に現在の状況を加え、読み応えのある内容にしたいと目下奮闘中。

5 記念講演

記念式典、記念講演に、一般の方々、卒業生の皆様をお呼びできないのが残念ですがこれから世の中に出ていく生徒たちが希望を持ち、明るい未来が築けるよう、在校生を中心に実施します。

このようにして、50年を機会に三股中がさらに発展し、次の百年に向かってますます良い伝統、校風を築いていくようPTAとしても頑張っていきたいと考えています。(PTA会長 上原正秀)

※お知らせ

'97エコロジーボランティアinみまた開催

町社会福祉協議会並びに町ボランティア協議会は、多くの人々に環境問題を考えてもらうと下記のとおり環境美化活動を行ないます。参加は自由となっていますので、子供からお年寄りまでたくさんの方の参加をお願いします。

■日時 9月28日(日) 午前9時～
■場所 三股橋下 右岸近辺
■参加対象 町内在住の方
■内容 ボランティア講演
ゴミ拾いなど
町廃棄物処理センター研修(希望者のみ)
■問い合わせ・申し込み先
三股町社会福祉協議会
☎52-1246
※参加者には、ボランティア保険をおかけします。